

### 第3回貝塚市環境保全審議会 議事録

#### 【開催概要】

日時：令和6年1月11日（木）16：00～17：00

場所：貝塚市役所 3F 公房会議室 A

議事：

- (1) 貝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進行状況について
- (2) 貝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案概要について

#### 【議事要旨】

◎議事（1）：貝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進行状況について  
意見なし

◎議事（2）：貝塚市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案概要について

- ・ ポジティブゾーニングについては記載しても良いのではないかと。論理的、合理的、計画的に進めていくことや他計画との整合性を踏まえ、前提条件を明確にすることができれば記載しても問題はないと考える。

地域公共交通計画を踏まえて検討していくと明記することは可能か。（議長）

⇒ポジティブゾーニングについては地域への説明がない段階では対象地域のマイナスイメージが生じる懸念があったことから記載しないようにした。他計画書との連携については、計画書の位置づけの中で各種計画との連携について記載した。各部局とも連携して取組みを進めていきたいと考える。（事務局）

⇒過疎地域の復興に係る意思決定や撤退というキーワードが最近になって出てきている状況にある。ネガティブな内容であっても表に出せるようになっていただきたい。今回の計画では難しくても、次の計画での課題として取り上げていただきたい。（議長）

⇒促進区域の記載については、他の自治体でも議論された。大阪府の指針が策定される予定であることや促進区域という考え方があることを記載しても良いのではないかと。大阪府の環境部局とも相談すると良い。（A委員）

⇒ゾーニングの考え方を記載するか検討いただきたい。（議長）

⇒大阪府と相談して検討する。（事務局）

- ・ 7章の本計画の方向性が最後に掲載されていることに違和感がある。今後の進め方に対する基本方針といったタイトルにするとよい。

マイカー依存の低減については市としてどう取り組むのか。計画書の書きぶりでは市民任せの印象を受ける。仕組み、制度作りについて記載すべきではないか。（議長）

⇒構成については検討する。意識向上を図るという内容を追記する。（事務局）

- ・ マイバック、マイボトルの普及を促すための仕組みはどのように作っていくのか。  
具体的な施策があれば記載すると良い。(議長)  
⇒マイボトルについては大阪府のアプリがあり、広域的に取り組むことができるものとなっている。(B委員)  
⇒アプリや広域で取り組むことが可能な旨を記載すること。(議長)
- ・ 間伐材を利用した鉛筆の配布だけでは子どもたちに影響を与えることはできないと考える。1年おきに間伐材を利用したインパクトを与えるようなものを寄贈できないか。(B委員)  
⇒事例を示し、想いや関りが循環するよう環境教育の熟度を上げられると良い。  
(議長)

以上